

## 議員特別研修実施報告書

報告議員名	塩田 勉	報告日	令和6年7月19日
調査研究・研修等 名 称	北海道北見市・網走市 「書かない窓口」の取り組みについて		
実 施 日	令和6年7月2日(火)～4日(木)		
会 場	北海道北見市・網走市		
調査研究・研修等の 概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>北海道北見市 「書かない窓口」の取り組みについて</li><li>北海道網走市 「書かない窓口」の取り組みについて</li></ul>		
調査研究・研修等の 成果と感想	<ul style="list-style-type: none"><li>北海道北見市 北見市は人口約110,000人、面積は1,427.41km<sup>2</sup>と全国4位の広さで、東西に伸びる道路は110kmと非常に大きい。 視察した「書かない窓口」は令和3年1月に供用開始された新庁舎建設に合わせて、職員提案が始まりで開始されたサービスであり、来庁者が1階の窓口課で住所・氏名を伝え、本人確認が行われると、庁内の関係課に情報が共有され、あとは氏名等を書かなくてもよいシステムとなっており、市民からの評判が非常に高いとのことであった。例えば、転入手続きに来た方が氏名を伝えれば、子どもの保育所と小学校の入所・転校書類の記載が不要となり、それぞれのフロアを訪れるだけで手続きが終了しているとのことであった。 非常に先進的なシステムであり、支所でも同様の手続きが可能とのこと。デジタル大臣も視察に来たとのことだが、導入費用が1,400万円と高額で、面積が広大で財政規模も比較的大きい北見市だから導入できたという側面もあると感じた。</li><li>北海道網走市 網走市は人口約33,000人、面積は471km<sup>2</sup>と面積は横手市とほぼ同じ大きさである。 こちらも「書かない窓口」の視察だったが、住民異動届・各種証明書交付など限定されたサービスのみ「書かない窓口」対応となっており、窓口職員が書類を作成することで「書かない窓口」としていた。支所でも同じ対応が可能とのこと。こちらは予算をほとんど掛けておらず、横手市でも直ぐに導入できると感じた。</li></ul>		

※調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。